

第一部部会（第24期・第2回）議事要旨

I 日時

2018年4月3日（火）15:00~16:30

2018年4月4日（水）10:00~12:00

II 会場 日本学術会議5-A（1）（2）会議室

III 出欠

4月3日 出席者：

井伊 雅子、池尾 和人、伊藤 公雄、岩崎 晋也、遠藤 薫、大竹 文雄、大野 由夏、
大山 耕輔、岡田 真美子、小佐野 重利、亀田 達也、亀本 洋、河田 潤一、
上林 憲雄、北村 行伸、木部 暢子、行場 次朗、窪田 幸子、栗田 禎子、
久留島 典子、黒崎 卓、古城 佳子、佐藤 岩夫、佐藤 嘉倫、佐野 正博、志水 宏吉、
白藤 博行、高倉 浩樹、高村 ゆかり、高山 佳奈子、徳賀 芳弘、戸田山 和久、
永瀬 伸子、中谷 和弘、西尾 チヅル、西崎 文子、西田 眞也、糠塚 康江、
野澤 正充、橋本 伸也、廣瀬 真理子、藤原 聖子、眞柄 秀子、町村 敬志、
松井 三枝、松浦 純、松下 佳代、松原 宏、松本 恒雄、三木 浩一、水野 紀子、
溝端 佐登史、三成 美保、宮崎 恒二、吉田 和彦、若尾 政希、和田 肇、渡部 泰明
（第一部会員58名）

欠席者：

石川 義孝、遠藤 利彦、岡崎 哲二、苅部 直、小玉 重夫、小林 傳司、西條 辰義、
恒吉 僚子、土井 政和、西川 伸一、福永 伸哉、本田 由紀（第一部会員12名）

事務局：

酒井 謙治、石部 康子、砂山 文香

4月4日 出席者：

井伊 雅子、池尾 和人、伊藤 公雄、遠藤 薫、大竹 文雄、大野 由夏、大山 耕輔、
岡田 真美子、亀田 達也、亀本 洋、苅部 直、河田 潤一、北村 行伸、行場 次朗、
窪田 幸子、栗田 禎子、久留島 典子、黒崎 卓、古城 佳子、小玉 重夫、小林 傳司、
西條 辰義、佐藤 岩夫、佐藤 嘉倫、佐野 正博、白藤 博行、高村 ゆかり、
高山 佳奈子、戸田山 和久、永瀬 伸子、中谷 和弘、西尾 チヅル、西崎 文子、
西田 眞也、糠塚 康江、野澤 正充、橋本 伸也、廣瀬 真理子、藤原 聖子、
本田 由紀、眞柄 秀子、町村 敬志、松井 三枝、松浦 純、松原 宏、松本 恒雄、
三木 浩一、水野 紀子、溝端 佐登史、三成 美保、宮崎 恒二、吉田 和彦、
若尾 政希、和田 肇（第一部会員54名）

欠席者：

石川 義孝、岩崎 晋也、遠藤 利彦、岡崎 哲二、小佐野 重利、上林 憲雄、
木部 暢子、志水 宏吉、高倉 浩樹、恒吉 僚子、土井 政和、徳賀 芳弘、西川 伸一、
福永 伸哉、松下 佳代、渡部 泰明（第一部会員16名）

事務局：

酒井 謙治、石部 康子、砂山 文香

IV 議事

（1）前回議事要旨（案）の確認

第一部部会（第24期・第1回）議事要旨について、資料に基づき了承された。なお、役員選挙の投票結果については、結果のみ公表することについて、了承を得た。

（2）報告事項

① 幹事会からの報告

資料に基づき、佐藤部長が報告をおこなった。特記事項として、1) 地方学術会議、2) 委員会等の議事要旨の公開等についてのガイドライン、3) 部を横断する課題について、4) 分科会等における特任連携会員について、資料などをもとに説明をおこなった。

② 第一部役員会からの報告

佐藤部長から拡大役員会の活動について、議事録を参照しながら紹介があった。

③ 分野別委員会からの報告

分野別委員会の活動状況について、各委員長から報告があった。

④ 第一部附置国際協力分科会からの報告

町村委員長から、ISSCのISCへの統合、WSSFの準備状況などについて報告があった。

⑤ 第一部附置科学と社会のあり方を再構築する分科会からの報告

町村幹事が、審議状況について、また幹事会附置の危機対応科学情報発信組織準備委員会の設置について報告をおこなった。

⑥ 第一部附置人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会からの報告

橋本委員長から、人文・社会科学のあり方をめぐる内外の検討状況と今後の方針について報告があった。

⑦ 第一部附置総合ジェンダー分科会からの報告

永瀬委員長から、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）の活動、および 2018 年度実施予定の「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査（仮称）」について、資料に基づき説明があった。

⑧ その他
とくになし

（3）協議事項

① 山極会長からの審議依頼について（外部評価有識者による評価への対応）

佐藤部長から、資料をもとに説明があり、外部評価有識者による評価への対応について、意見交換をおこなった。

② 人文・社会科学の振興について

三成副会長より、資料に基づき、学術をめぐる歴史的経緯、若手を支援できるような評価のあり方、分野別の違いに配慮した評価のあり方、外部に向けて説明することや学術会議が評価の方針を作成することの重要性などについて、報告があった。これらを踏まえて、今後の方針等について意見交換をおこなった。

③ 第一部査読手続きについて

藤原副部長から、資料に基づき、第一部の査読手続きについての報告があった。また佐藤部長から、提出を行う場合には早めに一度事務局に連絡をおこなっていただきたいこと、なるべく期末に集中せずに準備いただきたいことについて依頼があった。その上で、進め方について了承された。

④ SDGs への対応について

藤原副部長から資料に基づき、「持続可能な開発目標（SDGs）と学術」について、渡辺副会長から提示された論点に沿いながら、報告があった。論点は以下のとおり。1) SDGs をどうとらえるか。2) 「学術会議は SDGs 達成のために何ができるか」をどう議論するか。3) 「学術会議がどう「体質改善」するのか」をどう議論するか。これらを踏まえて意見交換をおこなった。

④ 夏季部会について

町村幹事から、7月 29 日・30 日に仙台・東北大学で、第一部夏季部会を開催する準備が進んでいることについて説明があり、この方針で開催することについて了承を得た。東北大学の佐藤（嘉）会員から、29 日にシンポジウムと部会、懇親会、30 日に部会を開催し、そ

の後、津波被災地へのエクスカージョンが予定されていることについて説明があった。

⑤ その他

ニュースレターについて、橋本幹事から進行状況に関し報告があった。

(4) 自由討議

・会員から資料をもとに、イスラエルとの「二国間交流」のあり方について、問題提起があった。この件について、国際委員会に参加している会員から、同委員会で審議される予定である旨、紹介があった。

(以上)